



<http://townweb.litcity.ne.jp/tanakanoda/>

第77号 (季刊)
平成18年1月
田中野田町内会

年頭所感



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より町内会運営に一方ならぬご支援ご協力を賜っておりますことを感謝申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、近年わが地域の都市化の進展は著しく、市内でも有数の人口急増地域になってまいりました。田中野田町内会も、今や会員数600名を超える巨大な町内会になっております。大きな数は大きな力を生み出しますが、まとまりのない組織では何の意味も持ちません。

あらゆる組織に当てはまることですが、組織が大きな力を発揮するのは「組織のために働く」とする意欲×「人数」と言われています。町内会に当てはめると「町内をよくしたい」という気持ちの強さ×「人数」になります。

今後の町内会の運営においても、数の優位性を生かすため、こうした状況に応じた体制づくりや、魅力のある取り組みを進めなければなりません。そして、「町内力」の更なるパワーアッ

個人情報保護と町内会

田中野田町内会
会長 和氣 健



プをはかるため、自分たちの町内をよくしたいと言う気持ちを高める地道な努力を積み重ねていかなければと感じているところです。

一方、昨年四月から個人情報保護法が施行されました。ただでさえ、人と人のかかわりが薄れ、無関心になろうとしている時代にあって

この法律施行の真の目的は何なのかよく分かりませんが、個人情報保護法を楯に身を潜められるようであれば、町内組織は存在意義を失いかねません。このことは本年度行われた国勢調査の状況からも明らかです。

個人情報保護法にいたずらに振り回されるようであれば、はたして

「町内力」を増加させることができるのか、現状維持さえ難しいのではとの強い危機感を抱いてしまいます。

今一度、自分たちの町内がどうあるべきなのか考え、他者の個人情報保護には配慮しながらも自らは積極的に自己開示し、ご近所とのふれあいや助け合い、町内会との強い関わりあいを求めるのか否かを、お互いに確認しあうことが必要なのではないのでしょうか。

